



サミット関連予算の概要

～平成28年度当初予算（平成27年度2月補正予算含む）～

資料2



伊勢志摩サミット
三重県民会議

伊勢志摩サミットの成功に向けて、市町、企業、関係団体等と連携し「開催支援」に取り組むとともに、サミットを一過性に終わらせることなく、開催後の地域活性化につなげるため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」を柱に、全県的な取組を推進します。

総計2,629,026千円
(1+2)

1. サミット関連予算の主な事業（伊勢志摩サミット推進局分）計 472,687千円 ※県民会議における市町負担金分を含む

開催支援

計 88,472千円

各国首脳等の歓迎・交流	27,457千円
インフォメーション機能の整備	12,018千円
報道関係者等の歓迎・支援	47,665千円 等

おもてなし

計 58,579千円

クリーンアップ活動、花いっぱいおもてなし運動	48,078千円
サミットフォーラムの開催	4,501千円 等

明日へつなぐ

計 144,204千円

ジュニア・サミット参加者との交流等	25,110千円
国際理解・国際交流プログラム等	2,282千円
大学生・留学生との交流事業(※)	10,239千円
サミット記念館の設置(※)	21,056千円
記録誌作成(※)	10,436千円
予備費(ポストサミット分)(※)	68,000千円 等

三重の発信

計 122,451千円

三重県情報館(仮称)の設営・運営	36,200千円
海外プレスツアー、プロモーション	55,044千円
県内・県外イベントでのPR、ポスター等によるPR	15,746千円
動画CMの放映	5,778千円 等

その他事務所設置費・運営費等 58,981千円

(県民会議等開催経費 2,066千円、事務局運営費 15,261千円、現地事務所設置経費 13,943千円 等)

2. サミット関連予算の主な事業（関係部局分）計 2,156,339千円

(注) (※)は、サミット終了後に行われる事業です。

・テロ等対策【警察本部】	1,080,970千円
・道路除草等の周辺環境整備事業【県土整備部】	721,000千円
・消防防災関係サミット対策事業【防災対策部】	353,984千円
・食の安全食品検査事業【健康福祉部】	7,086千円
・災害医療体制強化推進事業【健康福祉部医療対策局】	5,848千円 等

ポストサミットの取組 269,834千円



<参考>サミット関連予算の状況



(1) 平成27年度予算(26年度2月補正含) 【推進局分 332,966千円、関係部局分 6,368,949千円】 (単位:千円)

予算区分	予算額	財源内訳					
		県費	国庫支出金	寄附金	県債	基金繰入金	その他
26年度 2月補正	100,000 【113,000】	0	99,955	0	0	0	45 【13,045】
27年度 9月補正	5,880,310	0	99,696	0	5,437,000	340,614	3,000
27年度 10月補正	154,629	0	154,629	0	0	0	0
27年度 12月補正	553,976	285,114	64,879	150,000	52,000	1,975	8
計	6,688,915 【6,701,915】	285,114	419,159	150,000	5,489,000	342,589	3,053 【16,053】

(2) 平成28年度予算(27年度2月補正含) 【推進局分 472,687千円、関係部局分 2,156,339千円】 (単位:千円)

27年度 2月補正	1,077,153	▲328	1,986,550	280,000	▲1,395,000	205,931	0
28年度 当初	1,538,873 【1,551,873】	843,595	665,257	20,000	0	0	10,021 【23,021】
計	2,616,026 【2,629,026】	843,267	2,651,807	300,000	▲1,395,000	205,931	10,021 【23,021】

※1 平成27年度は、平成26年度2月補正分を含む平成27年度12月補正分までの累計額。平成28年度は、平成27年度2月補正分を含む平成28年度予算額。

※2 【 】書きは、県民会議における市町負担金分(13,000千円)を含む額を表記。

※3 (参考) 企業会計(水道事業会計)の平成28年度当初予算額(19,442千円)は外数。

ポストサミット関連予算の概要

サミットの開催は三重にとって千載一遇のチャンスであり、これを一過性にせず、サミットの資産を次世代に継承していかなければなりません。
⇒三重県における「ポストサミット」を、《サミットの「レガシー」を三重の未来に生かすこと》と定義し、そのために具体的な取組を展開していきます。

サミット開催に向けた「オール三重」による取組は、県民の皆さんがサミットの成果を地域の発展のために生かそうとする行動や、地域をより良くしようとする行動へとつながります。そのことにより、**地域の活力・魅力が高まって、観光やビジネスなどのさまざまな分野で三重が世界から選ばれるようになり、それが次代を担う若者や子どもたちの希望につながっていく**という「正のスパイラル」が生まれ、地域の自立かつ持続的な活性化が図られます。そのように、**サミットのレガシーを最大限に生かし、三重の未来を持続的に発展させていくことが、「ポストサミット」の基本的な考え方です。**

伊勢志摩サミットの開催

サミットの「レガシー」

サミットの開催により
地域にもたらされる
有形無形の好影響

①知名度等の向上

- ・「日本人の心のふるさと」三重・伊勢志摩の知名度の向上や評価・関心の高まり
- ・県民と海外・世界との距離が縮まること 等

②会議自体の成果

- ・宣言、方針、共同声明等や、それらに基づく計画、取組 等

③地域の総合力の向上

- ・県民や地域の一体感の醸成
- ・郷土に対する愛着や誇りの高まり
- ・地域に対する理解の深化、地域のネットワークの強化
- ・地域で自らイノベーションを起こそうとする県民の行動の活発化(アクティブ・シチズンの増加)
- ・おもてなしの力の向上
- ・「ダイバーシティ※」の視点による地域の深化
- ・県民力で「安全・安心」に取り組んだ経験 等

※ダイバーシティ:国籍や人種、信仰、性別・ジェンダーの違いや年齢差、障がいの有無などの「違い」を積極的に受け入れ活用する視点から、組織や社会として人材等の多様性を生かすこと

具体的な取組

〈平成28年度当初 計69,402千円〉
〈平成27年度補正 計215,209千円〉

- ・サミットが開催されるからこそ生まれる(発展する)取組
- ・アクティブ・シチズンとしての県民の行動を促す取組
- ・サミット開催後、一定期間にわたって効果が持続する取組

①人と事業を呼びこむ

〈平成28年度当初 計53,164千円〉
〈平成27年度補正 計143,632千円〉

(知名度等の向上を最大限に生かし、国内外の人びとと事業を呼びこむ取組)

- 【MICE誘致】 ○海外MICE誘致促進事業(27補)
○世界経済のリーダーを呼び込む国際会議開催事業(27補)
- 【インバウンド】 ○海外誘客推進プロジェクト事業(27補)
○三重県版バリアフリー観光促進事業(27補)
○地域活性化(観光活性化)ファンド組成事業
- 【食の産業振興】 ○みえの農林水産物の魅力総合発信事業(27補)
○「みえの食」グローバル市場獲得推進事業
- 【国際戦略】 ○グローバル創業支援事業(27補)
○外資系企業ワンストップサービス推進事業(27補)

②成果を発展させる

〈平成28年度当初 計3,000千円〉
〈平成27年度補正 計14,690千円〉

(サミットそのものの成果を引き継ぎ発展させる取組)

- 【安全・安心】 ○安全安心まちづくり事業(一部)
- 【サミットの聖地】 ○みえの農林水産「八百万サミット」開催事業(27補)
◆世界に開かれた魅力ある三重づくり促進プログラム事業
- 【環境】 ○みえの環境技術移転国際会議開催事業(27補)

③次世代に継承する

〈平成28年度当初 計13,238千円〉
〈平成27年度補正 計56,887千円〉

(サミットを通じて高まった地域の総合力を、次世代の育成や地域の魅力向上につなげる取組)

- 【次世代育成】 ◆三重県高校生サミット開催事業
◆大学生・留学生との交流事業
- 【女性の活躍】 ○未来へつなぐグッドワーク・グッドライフ創造事業(当初、27補)

注)事業名に◆印を付したものは、伊勢志摩サミット三重県民会議への寄附金を財源として実施する事業です。

☆サミットのテーマ決定、開催成果を受けて、ポストサミットの考え方をさらに進化させ、あわせて関連取組を検討します。

「伊勢志摩サミットの開催後、我が国での次のサミット開催地が決定するまで」を三重県の「ポストサミット期」と捉え、長く効果が持続すると期待される取組を展開していく。

全国菓子大博覧会・三重(平成29)、三重とわか国体・全国障害者スポーツ大会三重大会(平成33)の開催等を経て、第63回神宮式年遷宮(平成37「山口祭」)〜平成45「遷御の儀」へ

持続的に発展する三重の未来へ

～個別事業概要～

【MICE誘致】

①人と事業を呼びこむ

- 海外MICE誘致促進事業(27補) [16,708千円]
 - 世界経済のリーダーを呼び込む国際会議開催事業(27補) [30,000千円]
- <目的>
G7サミットという世界最高峰の国際会議の開催地としての知名度の飛躍的向上を生かし、国際会議をはじめとするMICE※の誘致に取り組む。
- <具体的な事業内容>
・海外MICEをインバウンドの重要な分野とし、誘致に向けた取組を展開する。
・世界経済のリーダーが集う国際会議を誘致し、世界に「三重」を発信する。



※MICE: 企業の会議、企業等が行う報奨・研修旅行、国際機関団体・学会等が行う国際会議、展示会・見本市・イベント。

【インバウンド】

①人と事業を呼びこむ

- 海外誘客推進プロジェクト事業(27補) [63,029千円]
 - 三重県版バリアフリー観光促進事業(27補) [3,118千円]
 - 地域活性化(観光活性化)ファンド組成事業 [20,000千円]
- <目的>
サミット開催により三重県の知名度が高まる好機を捉え、インバウンド需要のさらなる拡大に向けた環境整備や誘客促進に取り組む。
- <具体的な事業内容>
・欧米市場や富裕層、ゴルフツーリズム等の新たな誘客を促進する。
・案内表示の非言語(ピクトグラム)化など、インバウンド対応のための環境整備を進める。



【食の産業振興】

①人と事業を呼びこむ

- みえの農林水産物の魅力総合発信事業(27補) [18,421千円]
 - 「みえの食」グローバル市場獲得推進事業 [33,164千円]
- <目的>
サミット開催を通じて三重県の食材や食文化に国内外から注目が集まる機会を生かし、三重の「食」の魅力発信や、国内外への販路拡大に取り組む。
- <具体的な事業内容>
・首都圏等において県産農林水産物の魅力を伝えるとともに、ブランド力の一層の向上を促進する。
・食に関する多様な連携を推進し、洗練された商品やサービスを創り出しつつ魅力的な情報発信を行うことで、みえの食のブランドイメージを向上し、グローバル市場を獲得していく。



【国際戦略】

①人と事業を呼びこむ

- グローバル創業支援事業(27補) [6,863千円]
 - 外資系企業ワンストップサービス推進事業(27補) [5,493千円]
- <目的>
サミット開催を契機に、安全・安心等、ビジネス環境における三重の優位性の認知度を高め、世界に向けた起業や外資系企業誘致を推進し、産業の多様性のさらなる向上に取り組む。
- <具体的な事業内容>
・グローバルな創業・第二創業の促進のため、海外支援機関等との連携等を支援する。
・「外資系企業ワンストップサービス窓口」を設けてニーズへの迅速な対応を図るとともに、各国大使館を通じたPR活動等に取り組む。



【安全・安心】

②成果を発展させる

- 犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)の策定(「安全安心まちづくり事業」の一部) [1,000千円]
- <目的>
「伊勢志摩サミット」の開催による県民の皆さんの安全意識の高まりを引き継ぐとともに、「協創」による安全で安心なまちづくりを着実に進めていくため、「犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)」の策定を進める。
- <具体的な事業内容>
・安全・安心な社会にとっての新たな脅威となりつつある諸問題に総合的・横断的に対応するため、「犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)」の策定を進める。



【サミットの聖地】

②成果を発展させる

- みえの農林水産「八百万サミット」開催事業(27補) [4,690千円]
 - ◆世界に開かれた魅力ある三重づくり促進プログラム事業 [2,000千円]
- <目的>
G7サミットの開催地として、「『サミット』といえば三重県」というイメージが確立されることを生かし、「サミット」の名のつくイベントの県内開催や、サミットを記念した国際交流等に取り組む。
- <具体的な事業内容>
・農林水産物の生産・加工・販売の主体を集めて行う各種「サミット」を県内で開催する。
・「伊勢志摩サミットメモリアルデー」を創設し、国際交流の支援等につなげる。



【環境】

②成果を発展させる

- みえの環境技術移転国際会議開催事業(27補) [10,000千円]
- <目的>
ジュニア・サミットが「環境」をテーマに開催される予定であることから、四日市公害等で培われた環境技術等、環境先進地域・三重の世界への発信と、地球環境の保全と経済成長の両立への貢献に取り組む。
- <具体的な事業内容>
・新興国等を対象に、(公財)国際環境技術移転センター(ICETT)の研修生OB(政府幹部)等を招いた国際会議を開催する。



【次世代育成】

③次世代に継承する

- ◆三重県高校生サミット開催事業 [2,538千円]
 - ◆大学生・留学生との交流事業 [10,239千円]
- <目的>
世界と三重の距離が大きく縮まるなど、サミット開催による地域の総合力の向上を次代を担う若者の育成につなげるため、同世代の国際交流促進等に取り組む。
- <具体的な事業内容>
・県内高校生がジュニア・サミットのテーマ等に関する意見交換等を行う。
・県内外の大学生や留学生が三重に集い、交流する。



【女性の活躍】

③次世代に継承する

- 未来へつなぐグッドワーク・グッドライフ創造事業 [28当初:461千円, 27補:56,887千円, 計57,348千円]
- <目的>
サミット開催により、性別などの「違い」に関わらず活躍する人の姿にあらためて注目が集まり、「多様性」の重要さが再認識される機会をとらえ、三重における女性活躍の機運の一層の醸成に取り組む。
- <具体的な事業内容>
・国際的に知名度のあるスピーカー等を招聘し、「女性活躍」をテーマにした公開フォーラムを開催するとともに、参加者による共同宣言を実施する。



注) 事業名に◆印を付したものは、伊勢志摩サミット三重県民会議への寄附金を財源として実施する事業です。